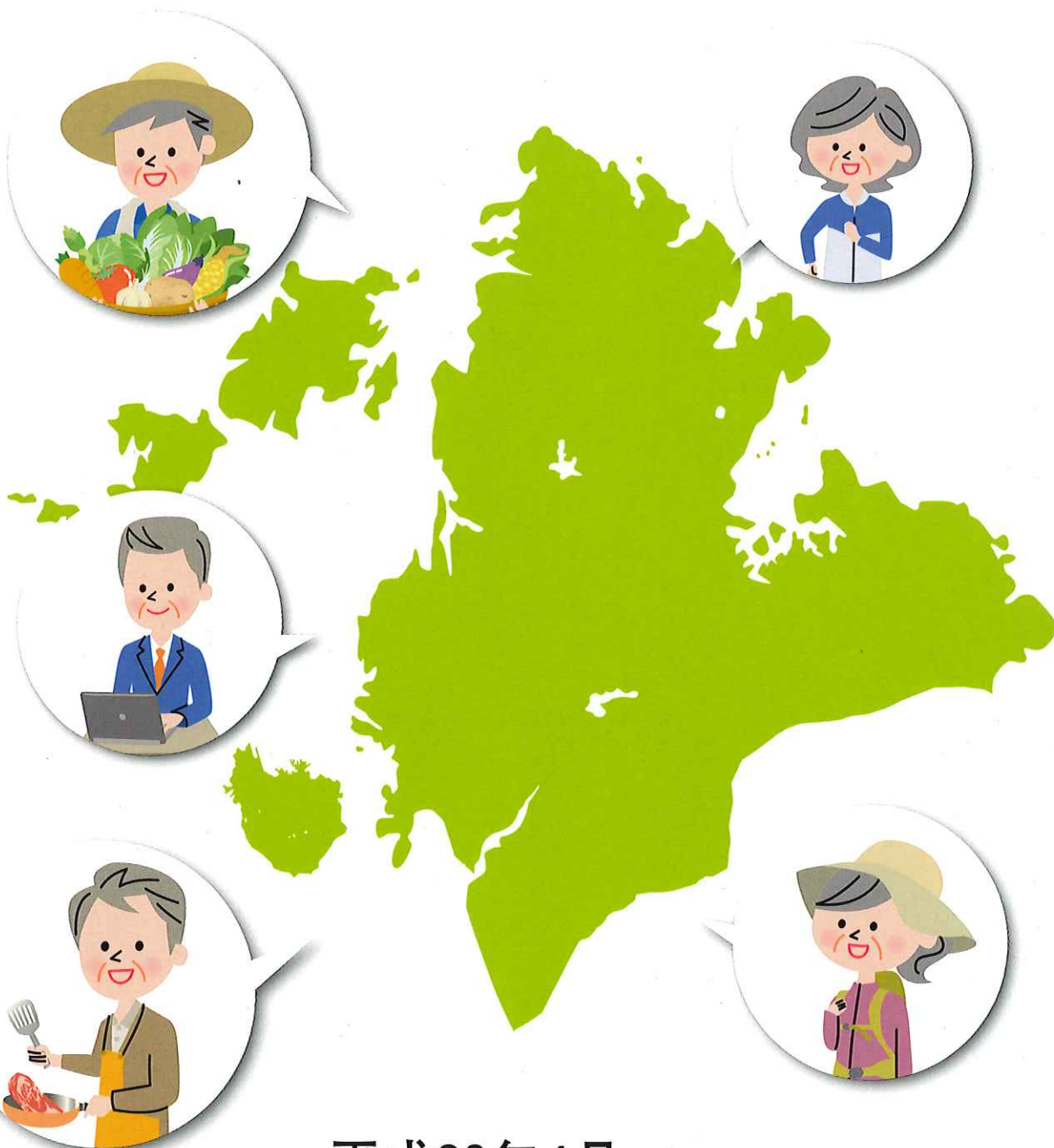


# 中長期目標計画

平成30(2018)年度 ▶ 平成39(2027)年度



平成30年4月

公益社団法人 西海市シルバー人材センター

# はじめに

西海市シルバー人材センターは、人口の高齢化が進む中、高齢者が培った知識、経験を生かす場を提供して高齢者の就業機会の確保と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会を実現するため大きな役割を果たしてまいりました。

しかし、人口減少による急激な高齢化や定年延長・継続雇用を実施する事業所も増加傾向にあり、センターを取り巻く環境は大変厳しい状況下にあります。

この様な状況の中、今後とも活力ある地域社会の実現に向けて、その役割を果たしていくためには、高齢者の多様化する就業ニーズに対応できる組織づくりと、事業の安定的な拡大や運営基盤の強化が求められます。

センターでは、こうした諸情勢を勘案し、従来の事業を更に強化するとともに、新たな課題へ着実に取り組むための計画として中長期的な目標を設定して、その計画を策定するものがあります。

# (公社)西海市シルバー人材センター 基本計画

## 1 基本計画の趣旨

西海市シルバー人材センターは、平成5年11月に高齢者が長年培った知識や経験を活かし、就業機会を確保するとともに、地域社会に貢献することを目的として発足し、以後合併を経て平成24年度から現在の公益社団法人に至っています。

また、定年延長や継続雇用を実施する事業所も増加傾向にあるなど、高齢化社会が急速に進む中、地域社会を支え高齢者の受け皿としてシルバー人材センターが果たす役割は今後より一層重要なものになることが考えられます。

こうした期待に応えるためには、事業の拡大並びに安定的運営を図る必要があり、今後において中長期的視点に立った基本方針、取り組みの方向性を示すものとして10か年（平成30年～39年）の計画を策定いたしました。

## 2 計画の期間

計画の期間は、平成30年度から平成39年度までの10か年とし下記のとおり中期・長期計画を設定する。

**中期** 平成30(2018)年度～平成34(2022)年度

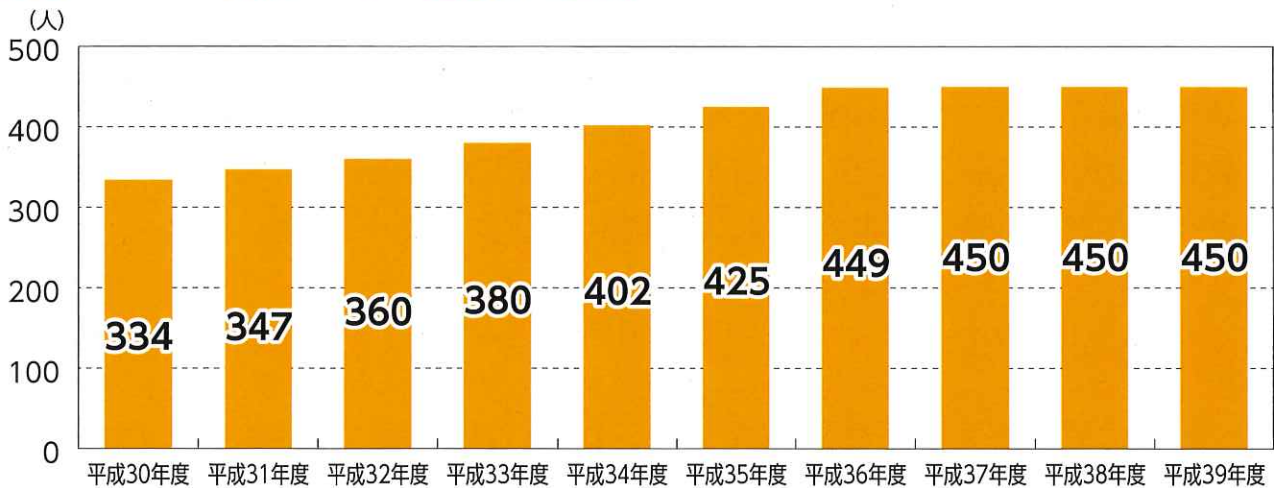
**長期** 平成30(2018)年度～平成39(2027)年度

なお、社会情勢等の変化を考慮し、各計画期の周期には調整を行う。

## 3 数値目標

	平成29年度 基準年	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度 (中期)	平成39年度 (長期)
会員数 (人)	322	334	347	360	380	402	450
受注件数〈受託〉(件)	2,100	2,110	2,120	2,130	2,140	2,150	2,200
受注件数〈派遣〉(件)	8	8	8	9	9	10	12
就業延べ人員〈受託〉(人)	29,300	29,400	29,500	29,700	29,800	30,000	30,700
就業延べ人員〈派遣〉(人)	3,400	3,410	3,430	3,450	3,460	3,480	3,570
契約金額〈受託〉(千円)	155,000	155,700	156,500	157,300	158,100	158,900	162,900
契約金額〈派遣〉(千円)	17,500	17,600	17,700	17,800	17,900	18,000	18,400
就業率〈受託〉(%)	90	90	90	90	90	90	90
就業率〈派遣〉(%)	100	100	100	100	100	100	100

### 西海市シルバー人材センター会員数の目標



※ 平成29年度会員数322人が基準値

※ 全シ協が策定した「第2次会員100万人達成計画」に合わせ、平成29年度を基準年度とし前半3年（平成30年～平成32年）の増加率を3.9%増、後半4年（平成33年～平成36年）の増加率を5.8%増として各年度の目標会員数を算出した。

### 西海市人口推移表

年度	人口 (人)	60歳以上の人口 (人)
平成26年3月	30,222	12,740
平成27年3月	29,693	12,734
平成28年3月	29,225	12,758
平成29年3月	28,815	12,759
平成34年3月 ※	26,718	12,744
平成39年3月 ※	24,780	12,686
平成40年3月 ※	24,412	12,499

※ 西海市人口統計より推定

## 4 基本計画の目標値と4つの基本方針

### (1) 会員の増強

#### ① 新規会員の増大

センターの基礎となる会員の増強は組織運営の重要な要素です。また、多様化する地域の顧客ニーズに対応するには、能力を持った会員を多数集約することが重要です。

平成29年度末現在会員数は322人と、前年度と比べて24人（7%）減となり平成25年度からは減少傾向にあります。粗入会率においては2.53%と全国平均を上回っていますが、このままセンター会員の高齢化が進み、会員の減少が続きますと発注者からの依頼に対応が出来ない事から、現状の粗入会率を維持しながら新規会員の増加対策に積極的に取り組む必要があります。具体的には日頃よりの会員及び役職員の口コミによる会員募集や、西海市広報誌にボランティア活動などを通じた地域住民へのPR活動など継続的に実行してまいります。

#### ② 女性会員の増員

会員の粗入会率は男性3.4%に対し、女性2.1%と低く女性会員数の底上げが必要です。

また、平成29年度より取り組んでいる新総合事業においては家事援助など女性に適した受注が見込まれる事から女性会員の入会促進を図ります。

#### ③ 会員のモラルの向上

会員である以上はセンターの代表であるという意識を常に持つことが重要です。会員の言葉、態度、行動等により、信用失墜につながることもあり得ることから、入会説明時や講習会等を通じて就業規則やマナーについての理解を徹底し、シルバーの理念である「自主・自立、共働・共助」を再確認しモラルの向上を図ります。

## (2) 就業機会の拡大、及び普及啓発の推進

### ① 就業の拡大

就業の確保・拡大をする事は、シルバー事業の維持・発展に欠かせない事項です。顧客のニーズを的確に把握し顧客志向に徹することを目指し、就業開拓活動の充実・新規事業所の開拓を推進していく必要があります。

平成29年度の契約金額は受託事業においては約15,100万円で前年度と比較して約740万円（4.7%）の減少、派遣事業においては約1,780万円で前年度と比較して約450万円（34%）の増加となっており、契約金額全体では減少傾向にあります。

今後とも、会員及び役職員が一丸となり就業機会の維持・確保に努め、発注者の方に満足していただけるような仕事の質の向上に努めてまいります。

また、業務内容により効果的と見込まれる場合は、派遣事業による就業機会の拡充を進めるとともに派遣先の開拓に努めます。さらに新規事業として、西海市主催によるふるさと納税制度活用のさいかい応援事業参加や、新総合事業にも積極的に取り組んでまいります。

### ② 普及啓発の推進

シルバー人材センターの理解と支援を幅広く得るには、センターそのものを知ってもらうのが重要です。そのために行政が発行する広報誌等への掲載のお願いや、センターのホームページを活用し、多様な普及啓発を展開してまいります。

## (3) 安全就業・適正就業の徹底

### ① 安全就業の徹底

会員の就業については、「安全は全てに優先する」という基本に立ち返り、真剣に事故の撲滅に努めなければなりません。

このため、これまでも作業基準の見直しを行ってきましたが、さらに、各地区において安全講習会及び定期的な安全パトロールの実施を行い、会員の事故防止に努めてまいります。

また、県内においても運転業務に係る交通事故が発生していることから、会員の自動車保険（任意）の加入を促進し、事故撲滅のため交通安全対策にも取り組んでまいります。

### ② 適性就業の推進

公益社団法人であるシルバー人材センターにとってコンプライアンス（法令遵守）は極めて重要なものであります。高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づく、臨時的・短期的またはその他の軽易な就業について、さらなる法律の遵守が必要となっています。

また、請負・委任契約に適さない就業については発注者への理解を求めながら派遣事業への切替の推進、長期就業会員については就業機会の均等化、未就業会員については会員個々の事情を把握したうえ、未就業会員の解消についても取り組んでまいります。

### ③ 健康管理の強化

シルバー事業は、高齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得る事を目的としています。このことから日頃より健康に対して意識することが大変重要であります。

このため、健康チェックや定期検診の積極的な奨励などの健康増進を図ってまいります。

## (4) 組織体制等の強化

### ① 事業運営の強化

センター事業運営は、定期的な理事会を開催し、協議事項については、適切な審議を行うほか、その機能の充実と強化に努めてまいりました。

専門委員会については安全・適正就業委員会、コンプライアンス委員会、総務委員会の3委員会を設置しています。

安全・適正委員会については会員の就業中における事故の撲滅について、安全パトロール等を実施するなど組織をあげて取り組むことが重要であります。

コンプライアンス委員会については、苦情処理や法令遵守を図るため、コンプライアンス委員会の活用を促進してまいります。

総務委員会については地域社会への貢献に関することや、組織の体制強化と会員の自主活動推進等について取り組んでまいります。

### ② 地域班・職群班組織の活性化

現在、地域班・職群班がそれぞれ設置されておりますが、センターと会員の連携・調整役を担っていますので、今後も班会議の開催やボランティア等の地域活動を推進して行く必要があります。

また、地域班・職群班ともに新しいリーダーの養成が急務であり、これらのリーダーを中心に活動を活性化し、地域に貢献できる組織体制の整備促進を図ってまいります。

### ③ 事務局体制の強化

事務局はセンターの事務部門を総括し、組織運営・業務運営を含めた事務処理をしております。事業拡大等により事務量が増大・多様化・複雑化する中で、事務処理の簡素化と職員の資質の向上など事務局体制の整備は重要です。

そこで、継続的に安定した事務局体制を確立するために、研修や事務局会議等を通じて職員の資質向上に努めます。さらに、会員及び発注者の利便性に配慮した効果的で円滑な関係の構築を図ってまいります。

また、「事務局組織の機構改革」による本部への一本化については、現状を把握し、会員及び発注者の方の要望を参考にしながら、今後も協議を重ね、その方針を会員皆様にお諮り出来る様努めて参ります。

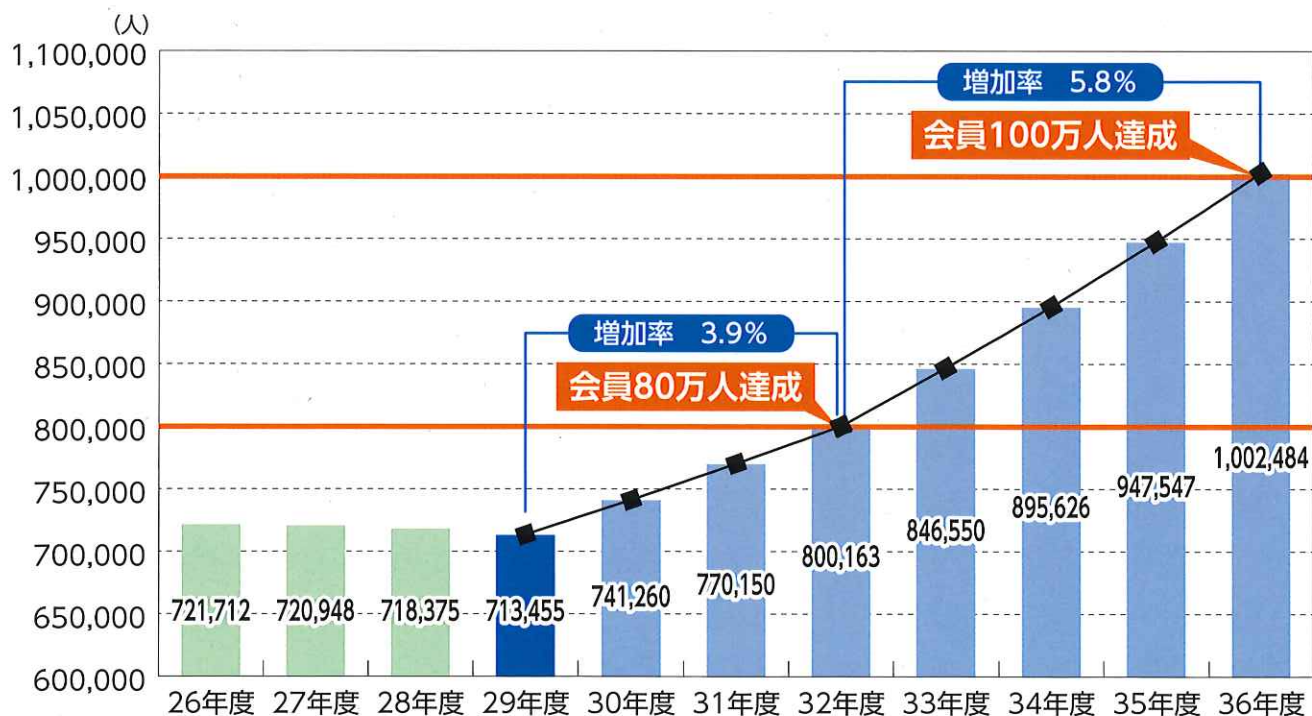


## 概要

- ① 計画期間は、2018（平成30）年度から2024（平成36）年度までの7年間とし、2020（平成32）年度に会員80万人を達成する。
- ② 連合本部・センターは、計画期間中の毎年度の会員増加率に基づき、会員拡大に取り組む。
  - ・ 2018（平成30）年度から2020（平成32）年度 3.9%
  - ・ 2021（平成33）年度から2024（平成36）年度 5.8%
- ③ PDCAサイクル\*（各年度四半期ごと）による的確な目標管理を行う。  
\*Plan(計画を立てる)→Do(実行する)→Check(評価する)→Action(改善する)の継続的な繰り返し

## 第2次100万人達成計画の各年度の目標

(平成29年度会員数を713,455人と推計した場合)





## 公益社団法人 西海市シルバー人材センターのご案内

### 本 部

〒857-2301 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸板浦郷920番12

TEL 0959-22-9086 FAX 0959-29-0281

営業時間：8:30～17:15

### 南部支部 (西彼町)

〒851-3305 長崎県西海市西彼町喰場郷1150

TEL 0959-27-1801 FAX 0959-27-1803

営業時間：8:30～17:15

### 北部支部 (西海町)

〒851-3506 長崎県西海市西海町黒口郷1477-1

TEL 0959-32-2014 FAX 0959-32-2174

営業時間：8:30～17:15

### 大崎作業所 (大島町・崎戸町)

〒857-2405 長崎県西海市大島町1820

TEL 0959-34-3978 FAX 0959-34-3294

営業時間：8:30～17:15

### 大瀬戸作業所 (大瀬戸町)

〒851-3506 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸板浦郷920番12

TEL 0959-32-2014

営業時間：8:30～17:15